

 評価のポイント

CL-Ⅲ.専門的、倫理的、法的な実践能力

〔1-3〕 小児看護における倫理的課題に対する「解決方法の検討」

- ① 受け持ちとなった子どもへの看護実践の場で、「原則・価値・ 評価の対立・結果の不確かさ」などによるジレンマがあった事例 を1つあげてみてください

看護実践の中で、子ども本人のことば、思い、意思を可能な限り、知る、つかみ、話し合いの場では、子どもが“主体（主語）”となっているか吟味する。

- ② ①について、関わった人の価値、評価、その対立があったかなど考えてみてください

小児看護に関わる私たちの役割は、弱い立場にある子どもの権利を擁護する（アドボカシー）こと。

- ③ ①について講義で示したアプローチから解決に向けての行動を考えてみてください

“子どものために家族とともに”考える。